



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織 (No. 86)
佐賀県ユニセフ協会通信 uniwish13号 (2014年8月)

佐賀県佐賀市水ヶ江4丁目2番2号

(電話・FAX) 0952-28-2077

(業務時間) 月・火・木・金 10:00~15:00

E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

ホームページ <http://www.saga-unicef.jp/>

FBページ <http://www.facebook.com/unicef.saga>



世界の子どもたちは、今。

シエラレオネ

エボラ出血熱 【2014年8月7日 シエラレオネ発】
広がる恐怖や差別、捨てられる子どもたち

西アフリカでの感染拡大が続くエボラ出血熱。ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネの4カ国で、これまでに1,848名の感染を確認、死者は1,013名に上ります。
8月7日～9日の3日間で新たに計69名が感染(確認、推定、疑いを含む)し、52名が死亡しました。

ユニセフ西部・中部アフリカ地域事務所代表のマニュエル・フォンテンは「うわさと状況理解への拒絶によって、エボラ出血熱は感染拡大しています。こうした結果、住民たちは自身の命をさらに危機にさらしています。この病気の存在そのものを否定している人もいれば、治療ができないと信じている人もいます。」と述べています。

ユニセフは、ギニア、シエラレオネ、リベリア、ギニアビサウ、セネガル、マリ、ガンビアの7カ国で、携帯電話のメッセージ機能やすでに実施しているラジオやテレビ、印刷物などによる広報活動を通じて、感染拡大防止の取り組みを強化しています。また、感染が確認されている地域では、伝統的または宗教的リーダーの協力も得ながら、地域で感染予防法が広められています。ユニセフは、予防や治療に必要な医療品等の提供、医療従事者への研修・育成などを行っています。



© UNICEF/NYHQ2014-1065/Romero Torrecilla
エボラの症状について住民にポスターを見せながら説明をする保健員。



© UNICEF Sierra Leone/2014
車にエボラに関する公用情報ポスターを貼って町を巡り、予防法を広めるスタッフ。

子どもの保護

- ・最も多くの感染者が確認されている2地区で、エボラ流行による子どもとコミュニティに関する緊急調査を実施。
その結果、少なくとも87名の子どもが、養育放棄されていたり、家族と別々にいることが判明。
- ・こうした背景には、エボラ出血熱への恐怖やコミュニティ内での不信、感染者（または疑わしい）との烙印、差別があり、コミュニティの一体性や対応が崩壊していることがあげられる。
- ・また、経済的損失（収入を失う⇒対処できず⇒食糧不足に）、保健的損失（保健サービスの供給と需要の減少⇒エボラ以外の病気の罹患率・死亡率上昇）、教育的損失（教育サービスの供給と需要の減少⇒学業低下、安全で保護的な空間の減少）が起これらと強調。
- ・「子どもの保護」の点から、即対応が必要なこととして(1)コミュニティでの意識啓発、(2)養育放棄された子どもの当座のケアと感染した子どもたちが家族のもとへ戻れるようコミュニティへの働きかけ、(3)心のケア、(4)基本的なニーズ、収入支援があげられる。

日本ユニセフ協会は、緊急支援に備えて設けている臨時拠出積立金より、2014年4月、ギニア、リベリア、シエラレオネの3カ国のエボラ出血熱への対応のために各10万米ドル（計30万米ドル）の拠出を行い、エボラ出血熱感染拡大防止を支援しています。更に新たな感染者と予防のための取り組みを強化するため「アフリカ緊急募金」へのご支援をよろしくお願いします。

【2014年7月25日 ジュバ(南スーダン)発】 支援の即拡大なければ飢饉の恐れ 栄養不良で子ども5万人死亡との推計

7月25日、南スーダンでユニセフとWFP 国連世界食糧計画（以下、WFPと記載）の両事務局長は、世界で最も新しい国・南スーダンの紛争下に暮らす母親と重度栄養不良の子どもたちと面会し、南スーダンの子どもたちのために、国際社会に直ちに行動をとるよう、警鐘を鳴らしました。

飢饉宣言が出る前に、行動を

上ナイル州のマラカルを訪れ、数万人が避難しているマラカルの国連施設を訪ねたユニセフ事務局長のアンソニー・レークは「毎日毎日、子どもたちが栄養不良で亡くなっています。国際社会は、飢饉宣言が出るのを待たずに、行動せねばなりません。紛争に巻き込まれ、避難生活を送りながらも、子どもたちを飢えから必死に守ろうとしている母親たちと話をしました。子どもたちの命を守るため

に、更に支援を強化し、そして素早く対応せねばなりません」と述べました。

ユニセフとWFPは、2014年に南スーダンで急性栄養不良の治療が必要となる子どもは約100万人に上るとみています。国際社会が栄養不良への支援に直に取り組む、食糧や栄養支援を拡大しなければ、ユニセフは、今年5万人の子どもが栄養不良で死亡する恐れがあると推定しています。国内の3人にひとり一つまり390万人一が危機的な食糧不足にあり、次の食事がいつになるのか、またその当てもない状況に置かれています。

南スーダンで続く暴力の連鎖で、国内で避難生活を送る人は100万人以上に上り、その半数以上は子どもたちです。紛争によって、多くの人々の生活手段が失われています。

【資料提供：日本ユニセフ協会】

東日本大震災

東日本大震災復興支援 第237報 【2014年6月30日 南三陸町発】
長谷部誠選手 南三陸町「あさひ幼稚園」を訪問

FIFAワールドカップTMの熱戦の舞台から6月27日（金）午後帰国したばかりの長谷部誠選手が、週明け30日（月）宮城県南三陸町の「あさひ幼稚園」を訪問しました。

自身の著書の印税などで、津波により園舎を流失したあさひ幼稚園の再建を支援された長谷部選手は、再建支援が決まった2011年12月以降毎年同園を訪問。

今年2月の右膝靱帯手術後のリハビリで苦しんだ時も、そしてブラジルで苦しい戦いを続けた間も、励まし応援してくれたあさひ幼稚園の子どもたちに直接感謝の言葉を届けたいと、急遽実現した4回目の訪問。

東京を早朝に出発し、同日夕方には東京に戻らなければならない強行日程の中、現地滞在に許された時間は僅か。

それでも、子どもたちの笑顔は、2カ月にも及ぶ厳しいトレーニングと激戦から帰り、代表チームキャプテンという重責から解放されたばかりの長谷部選手の心を癒してくれたようです。



○ 日本ユニセフ協会/2014
子どもたちとタコ提灯作り。子どもたちより真剣に取り組んでいたようにも見えましたが。

長谷部選手とあさひ幼稚園

東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県の自治体の要請を受け、日本ユニセフ協会は、保育園や幼稚園の仮設園舎、学童施設等全21施設の建設や大規模な修繕のための支援を実施。

ご自身の呼びかけに応えてくださった著書の読者お一人お一人の気持ちを具体的な形にされたいという長谷部選手の思いを受け、同選手からお預かりした総額1億1,700万円のご寄付※を、21施設の一つ「あさひ幼稚園」の新園舎再建に活用させていただきました。

（※著書『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』の印税と、長谷部選手が2011年6月に出身地藤枝市で開催されたチャリティイベントの収益金の全額。）

【資料提供：日本ユニセフ協会】



○ 日本ユニセフ協会/tatsuo hirose/2014
「また来てね！」 長谷部さんの右手には、子どもたちから感謝のお手紙が。



かつどうほうこく



- 5月18日（日）ユニセフカード/ギフトの頒布&ユニセフの活動紹介
第45回『青年の日』 第20回 チャリティーフェスティバル会場にて（唐津市虹の松原広場）

- 5月25日（日）インドの女子教育募金活動&ユニセフカード/ギフトの頒布
第30回 鹿島ガタリンピック「未来へつなげよう、干潟からの挑戦」
～よろこびをつなげて30年～ 会場にて（鹿島市七浦海浜スポーツ公園）

- 5月25日（日）第21回ユニセフチャリティーバザー
～インド女子教育支援～（佐賀玉屋デパート）
県内からだけではなく、茨城・東京・横浜・大阪・神戸・岡山・福岡などの県外からもバザー品のご提供をいただきました。



また、企業・団体の皆さまからも多くのご協力をいただきました。会場では城北中学校の生徒会や清和中学の生徒会など総勢30名のボランティアさんの若い力の頑張りに支えられました。

真夏のような暑さの中でしたが、バザーの売上と募金は145,394円にもなりました。バザー品をご提供くださった皆様、お買い物をしてくださったたくさんのお客様、会場をご提供くださった佐賀玉屋デパート様、そしてボランティア協力をしてくださった皆様、大変ありがとうございました。

- 5月29日（木）致遠館高等学校生徒会 ユニセフ学習（事務所にて）

- 6月20日（金）小城市立芦刈観瀾校中学部 「インド女子教育募金」贈呈（小城市芦刈町三王崎）

- 6月24日（火）コープさが生活協同組合募金贈呈（佐賀市アバンセ）



致遠館高校生徒会ユニセフ学習会



芦刈観瀾校中学部募金贈呈



コープさが募金贈呈

- 6月18日（水）25日（水）ドリームパーク：ユニセフ出前授業
「やってみよう♪ ボランティア♪」
神埼小 かぜ組・そら組（神埼小学校）
7月16日（水）23日（水）千代田中部小 ゆめ組・ほし組（千代田中部小学校）



- 7月15日（火）ユニセフ出前授業 久留米市立荒木中学校3年
「地球市民になろう～考えよう、自分のこと、地球のこと～」

- 7月22日（火）トヨタ紡織九州株式会社 募金贈呈（事務所）



- 7月31日（木）ピースアクション2014（アバンセ）
パネル・地雷レプリカ展 シリア緊急募金

- 8月7日（木）～10日（日） 第23回佐賀市平和展 ～語り継ごう、平和の尊さ～
地雷レプリカ・シリア危機「失われた世代」にしないために パネル展
（佐賀市立図書館）



ユニセフ講演会&写真展「インド 経済発展の陰で苦しむ子ども」

5月24日（土） 佐賀大学本庄キャンパス経済学部3号館3階第1会議室

講演：「知ることから始めよう！ ～インドの教育・カースト・女性～」

講師：ラタナーヤカ・ピヤダーサ先生（佐賀大学経済学部教授 経済学博士）



【講演より】

講師：ラタナーヤカ・ピヤダーサ教授

まずは、インドとはどのような国かご存知でしょうか。

「世界を知りたいならインドに行け」といわれています。それくらい全ての面で多様な国です。

地理学的な視点から見ても、寒暖の激しい地域が存在しており、更に仏教、ヒンズー教など世界の主要宗教が生まれた国でもあります。他にも言語、習慣、文化、経済、教育、研究などすべての面でインドは世界が集まった国であると言えます。それに加え人口の面からみても中国に次いで2番目に多い国ですが、おそらく将来、第一位になるでしょう。そしてGDPは世界で10番目です。



インドの近代史を見てみると1858年～1947年までイギリスの植民地でした。その時代では現在のパキスタン、バングラディッシュはインドの一部でした。しかし、1947年にイギリス人から独立を得た時に、ヒンズー教とイスラム教を分ける目的で、パキスタンという新しい国が誕生しました。更に1971年にパキスタンの一部であった地域が、バングラディッシュと言う新しい国として分かれたのです。

次に経済学の観点から見てみると貧困は購買力を考えて算出される数字であります。絶対的貧困率（1日1.25ドル以下）の割合は41.6%（2005年）と言われています。これが意味する事は、現在のインドの人口の4割を占める約5億人（日本の人口の約5倍）の人々は基本的な要求（Basic Needs）、いわゆる食料品、衣料品、住宅を満たさない状態での生活をしていることが分かります。また、2ドル以下で生活する人々は総人口の75.6%を占めていますのでインドの人々の経済状況はどんなものなのかを理解することは容易です。

さて今日は、カーストの話をしたいと思います。

私は教育・カースト・女性差別という3つの課題の相関関係が非常に高いと思います。具体的に言えば、教育の発展によってカーストがなくなり、女性差別もなくなると思います。この面に関してはユニセフの活動、特に教育の発展に対する役割が最も大切であると考えております。

インドの場合、Brahmin、Kshatriyas、Vaishyas、Shurrasという4つの主なカーストがあります。これらはVarnasシステムと呼ばれています。全てのカーストは神、特にヒンズー教に関連しています。例えば、神の頭から生まれたとされるBrahmin（バラモン）といわれるトップ、軍隊などのKshatriyas（クシャトリア）、一般市民であるVaishyas（バイシャ）、奴隷とされるShurras（シュードラ）が存在します。これらに分類されない「Dalits」と呼ばれているアンタタッチャブルなグループと「Adivasi」と呼ばれている部族・原住民はVarnasシステムに含まれていません。

インドの独立後の憲法によると、カースト差別は法律違反になります。大学入試や公務員採用、国会議員の選挙などはカーストの割り当てに従ってはいけないことが法律で義務付けられています。しかし、現実にはこの法律はあまり実施されていません。2001年の国勢調査によると、アンタタッチャブル人々の人口16.6%、部族・原住民は8.6%を占めています。一番の驚きは、アンタタッチャブルのカーストの中で1,108ものカーストにより構成されている事と、部族や原住民の中には744の族があるということです。

このDVDを見てください。

『（DVDより）1日1ドルほどの報酬を求めた人々は、暴動を起こしたとされ地主たちによって58人が殺されました。地主たちは正当防衛だと主張しており、その犠牲者の中には私の息子もいました。孫は着物の中に隠れて無事でした…村では殺される確率が低い女性に銃を持たせる訓練もしている。女性たちは強姦されたり殺されたりするが警察もこれは当たり前と思って動かない…』

やはり、子どもの教育とカーストは深い関係があります。例えば、アンタタッチャブルな子どもが初等教育を受けられる割合は21%で、他のカーストの子どもたちは70%となっています。女性の場合、この数字はさらに悪化します。それは、多くの低いカーストの子ども、特に女性の多くは学校へ行かないのです。

家庭を守り、子どもを育てるものだと思う節が多いためどうしても学校に行く機会がないのが現実です。さて、教育を受ける格差があることから次は学校教育からドロップアウトする理由をみてみましょう。多い順に「興味がないから」「コストが高いから」「自分の仕事があるから」、他には「学校が遠いから」「女子トイレがないから」「女性の教員がいないから」などがあがっています。

DVDを見てください。

『(DVDより) 5才の子どもが労働をしている映像…労働によって子どもたちはぜんそくなどの肺疾患、作業中の怪我や重い物を運ぶために腰や腕を負傷したり、最悪死んでしまう幼い子どももいます』

アンタタッチャブルと部族・原住民の女性に対する暴力行為は9つにわけて説明することができます。具体的に言えば、身体的暴力、言葉による攻撃、性的いやがらせと攻撃、強姦、性的搾取、強制的売春、誘拐、子どもへの虐待、DV等です。このような暴力行為はほとんどは公的なスペースで行われているといわれています。具体的に言えば、「街中」「公衆トイレ」「病院」「自宅」「職場」「市役所」「警察署」などの公的スペースです。法律も警察も見ても見ぬふりなのです。

DVDを見てください。

『(DVDより) 世界で5番目に女性が危ない国と言われる。女性は汚物を手で拾う仕事やほかの危ない、汚い仕事しかできない。やけどを負ったり石で殴られたり…しかし警察は黙認し、賃金も非常にわずかなものです。カーストによって売春、奴隷になることは当然なのです。しかしこのような現実の中でも、やはり学校に行きたいと願う女性も大勢います。』

いまから教育・カースト・女性問題についてスリランカの経験を紹介したいと思います。

スリランカはインドから30キロしか離れておらず、九州より面積が少し大きい島国です。私は、この国に1951年に生まれました。スリランカも1815年からイギリスの植民地になり、独立を得たのは1948年です。独立を得た時にスリランカにはカーストが18もあり、それぞれのカーストは職業により分割され、カースト毎により村も分かれていました。また、家族名もそれぞれのカーストを反映するものでした。

しかし、独立後、スリランカは主な政策として「一つの村に、一つの学校」、「大学を出るまで教育は無料化」、所得レベルに関係なく「医療は無料」、低所得者に対する食料品の供給などの社会福祉政策を盛り込みました。また、カーストに関係なく一人当たり2ヘクタールの入植地として新しく設立した村に供給しました。家族名の変更の自由化も発表しました。更に、公務員や学校の先生などの就職活動は試験で決める政策も導入しました。それにより、人々の心に、カーストに関係なく尊敬する考えも生まれたと思います。同時に女性に対する差別もほとんどなくなりました。1960年に世界で初めて女性大統領が登場したのもスリランカです。現在もカーストは存在しますが、それはお見合い結婚の際のみ“どこのカーストの出か”という話が出ますが、それくらいです。

また当時、独立した時に人口の多くがマラリアで死亡していましたが、今はマラリアによる死亡は、ほぼゼロです。乳幼児死亡率はインドでは61人(1000人当たり)ですが、スリランカでは9人です。識字率は女性も男性も95%以上です。最後になりますが、スリランカの経験から言えるのは、教育の発展がカーストや女性差別の問題の解決重要な鍵になっていることです。ご清聴ありがとうございました。

【参加者の声(アンケートより)】



- インドは経済発展の国として注目しておりました。もちろん、格差社会であることは認識していましたが、その裏にこれほどまでのカースト制が残っていることを知りました。そして、女性の差別。まだまだ知らない現状を知ることができました。アジアの病気。どうすれば改革できるか、考えさせられます。
- GW有田のユニセフ募金活動に参加させていただいたときに、インドの女の子が辛い思いをしていることを知り、もう少し知りたいと思った。今回の講演会で深く知識を得ることができてよかった。
- 今までインドでどのようなことが起きているかなど考えたこともなかったので、カーストでどのような差別があるのか、どの程度の貧困、貧富差なのかということを知ることができました。特にアチュートである「アンタタッチャブル」や「部族・原住民」への接し方が酷すぎて警察もあまり動かないというところに「このままであってはいけない。」という気持ちを抱かされました。まだ、ここまでのことを知らない人たちもたくさんいると思いますが、今回ラタナーヤカ先生の講義を聴けたのでよかったです。これからもユニセフにできるだけ参加していきたいと思います。「シュヌンシュヌン」のDVDが、映像でのインドのことと共に、ユニセフのことについても知れたのでとても分かりやすかったです。



ユニセフって なあに？



～ユニセフとノーベル賞～

ユニセフは1965年にノーベル平和賞を受賞しています。



©UNICEF/HQ05-0894/Nicole Toutounji
ありし日のラブイス夫人（中央） アン・ベネマン ユニセフ事務局長（右）とともに

ユニセフと「キュリー夫人」とのつながり

「キュリー夫人」という伝記を読まれたことはありますか？ キュリー夫人はポーランド出身で、ノーベル賞を2度受賞（ノーベル物理学賞と化学賞）した世界的に有名な女性です。

また、出身国のポーランドは、ユニセフが活動の基本とする「子どもの権利条約」の草案を起草し、国連で採択するよう働きかけた国としてよく知られています。

このキュリー夫人の次女として生まれた女性が、ユニセフの第2代事務局長だったヘンリー・ラブイス氏（在任は1965～1979年）と結婚したイヴ・キュリー・ラブイス夫人です。ラブイス夫人はユニセフの“First Lady”として夫君と共に多くの開発途上国を訪問。子どもたちへの支援と擁護を訴えました。

また、ユニセフが1965年にノーベル平和賞を受賞した時、夫君のラブイス氏が事務局長でした。

ラブイス夫人は1904年にパリに生まれ、若い頃はピアニストとしてヨーロッパ中を演奏旅行し、第2次世界大戦中は戦争特派員として前線から記事を送るなど、ジャーナリストとして活躍しました。母親であるマリー・キュリー夫人の伝記著者としても知られています。

2007年10月22日、102歳でこの世を去りましたが、ユニセフ米国国内委員会の名誉理事を務めるなど、終生ユニセフに尽力されました。

「子どもの権利条約」の生みの親の国が輩出した世界的科学者の娘とユニセフとのつながり。歴史はおもしろいですね。

【日本ユニセフ協会 T・NET通信38号（2008 WINTER）より】

学習講師ボランティア募集!!

佐賀県ユニセフ協会では、**学習講師ボランティア**を募集しています！

ユニセフを通して知る世界の子どもたちのこと・命・環境・平和など、広い視野で世界の問題にも目を向けられる子どもたちの育成を、あなたもお手伝いしていませんか？

まずは事務局までご連絡を！（TEL&FAX 0952-28-2077 E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp）



ご支援
ありがとうございます

団野総合法律事務所様 母子草様 ボーイスカウト有田第1団様 芦刈観瀾校中学部様
国際ソロプチミスト佐賀西部様 ようどう館大和校様 西川副小学校様 コープさが様
トヨタ紡織九州株式会社様 税理士法人諸井会計様 New・モア様 佐賀ギター音楽院様
(社)佐賀整肢学園様 太陽塗装様 栗原内科消化器科医院様 峰公認会計事務所様 (株)電興社様
(株)ライフデザイン様 服部電機サービス様 (株)佐賀タクシー様 最所法律事務所様 (株)マベック様
母乳ケアFor smile様 松尾建設株式会社様 (株)九電工佐賀支店様 リコージャパン株式会社様
ワタキューセイモア九州支社様

西村会計事務所様 佐賀県国際交流協会様 佐賀リハビリテーション病院様 ヘルスランチ蘭様
本庄公民館様 クリーニングショップホワイトティ様 矢ヶ部小学校様 ポリテクセンター佐賀様
グランデはがくれ様 佐賀大学医学部研究棟様 千代田中部小学校様 副島病院様 佐賀生協連様
(2014年5月4日～2014年8月15日)

☆ いろいろな形でのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。
個人の皆さま方からもたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄での
ご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。



これからの予定 (8月15日現在)

- ☆8月20日(水) ユニセフ出前授業 神崎市放課後子ども教室ドリームパーク 神埼小学校「ゆめ組」
- ☆8月27日(水) ユニセフ出前授業 神崎市放課後子ども教室ドリームパーク 神埼小学校「ほし組」
- ☆9月18日(木) ユニセフ出前講座 国際ソロプチミスト佐賀西部(武雄センチュリーホテル)
- ☆10月5日(日) さが国際フェスタ月間
インド女子教育支援ユニセフチャリティーバザー&似顔絵会(佐賀市商工ビル特設テント)
- ☆10月19日(水) さが国際フェスタ月間 ワークショップ (佐賀市商工ビル佐賀県国際交流プラザ)
- ☆10月25日(土)～11月3日(月) さが国際フェスタ月間 ユニセフパネル展 (佐賀市商工ビル)
- ☆10月25日(土) なんでんお助け隊 出前授業&募金贈呈(柳川市大和公民館)
- ☆10月26日(日) バブバブフェスタ2014 「いっしょに てを あらおう」(佐賀市天神)どん3の森
- ☆10月29日(水) 柳川市立矢ヶ部小学校出前授業

☆☆☆ 9月27日(土) 佐賀県ユニセフ協会設立20周年記念 ☆☆☆ (於マリトピア)

14:30～17:00(参加費 1,000円 ※参加費の一部はユニセフ募金とさせていただきます)

- ①オープニングイベント
- ②記念式典
- ③キャスター・菊川怜トークライブ ～世界の子ども笑顔のために～

※ レセプション 17:15～18:30(参加費 4,000円)

たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。お誘いあわせのうえご来場ください。
(詳細はチラシをご覧ください)



の 仲間たち!

西村会計事務所所長

西村 宰 さん (59) 鹿島市

西村会計事務所で税理士をしております西村宰（にしむらおさむ）です。

佐賀県ユニセフ協会との縁は、同協会の前身である日本ユニセフ協会佐賀友の会が設立されると聞いた1993年に経理のお手伝いをさせていただいた事でした。

それから今日まで、会計や経理でのボランティアをして21年になります。

よくよく思い返してみると、ユニセフとの最初の縁はもっと昔にあったように思います。鹿島高校在学中のときの事でした。テレビでアフリカの紛争の映像を見たのです。様々な紛争の状況、ほとんど裸同然の恰好でもの珍しそうにカメラに集まってくる子どもたち。彼らのきらきらした目の輝きの中に“生きる”エネルギーを見ました。

私は高校時代で悩みや迷いもあり、多感な時期だったのですが、何か非常に印象的なものがあったのです。それからは街頭などに立ったことはなかったのですが、募金活動などを見かけたら行動をするようになりました。

税理士となってもいくつか地域活動をしていますが、その中でライフワークとして「水の会」の代表をさせていただいています。佐賀はとにかく水に恵まれ美しい所です。水に触れていると自分が生かされているとを感じるのです。水なしには我々は生きられません。地球の中の『日本』だと感じさせてくれますし、ローカルの、そして世界の共通意識のようなものも感じるのです。ユニセフの活動で共感したのは、命の源である水の大切さを伝えるところや、援助というときに物資の支援だけでなく井戸の掘り方を教えたり母親たちに教育をしているところですね。自分が少しでも、日々の忙殺される業務の中でももう一歩、ほんの少し力を出さねばと年々思うようになりました。

わたし自身、来年には還暦を迎えます。これからは次の世代の育成にも力を入れていきたいです。子どもたちに伝えたいことも多いですね。人間とは、常に人にもらったり与えたりというエネルギーのキャッチボールをしています。それは家族や仲間、いつも傍にいてくれるクラスメイトからも日々受け取っているのです。その中で、自分の価値を見つけることで他人の価値を理解できるはずだと私は思います。ユニセフはきっとそれを学ぶ機会になるはずです。単に『かわいそう』という感情はすぐに出てくるかも知れませんが、内戦や戦争・天災に関しても明日は自分の身に起きるかもしれない、他人事ではなく遠く離れた彼らも同じ仲間なんだと子ども達が体感するお手伝いをしたいですね。



ボランティアのボースカウトの子どもたちに
ハンド・イン・ハンドの意義について説明
鹿島地区会場にて

(取材：高原陽子)